

海っ子の森活動説明



海藻苗取付自然石への
メッセージイベント



自然石へのアラメ苗の取付



伊勢えび（稚エビ）の放流



取り付けた苗を漁港で中間育
成します。



みんなでバーベキュー



事業内容

24日活動交流会 ・ 25日海の森づくりイベント(海のピオトープ作り)

活動月日

4月24日・4月25日

参加人数

37人

活動対象地域

紀北町海山区島勝浦

参加団体

海守り・紀北町

事業内容

24日は前夜祭として紀北町宿泊施設けいちゅうを使用し海の森づくり体験のオープニング活動交流会を行いました。今年度の海っ子の森活動内容の説明を行い生物多様性について参加者と学習を行い、三重大学研究員竹峰誠一郎氏により(地元の海の利用調整ローカル・ルールの形成に着目して)の講演を行ってもらい海での活動に対する漁村でのルールを皆で考えました。25日は、地元活動団体海守りと今年度の日本財団助成事業活動のメインとなる自然石に海藻(アラメ苗)を取付けて海に植林を行い、自然石には、メッセージやデザインをペイントし参加者各人の植林(藻場)への思いを込めました。苗を取り付けた自然石は、漁港で大きくなるまで中間育成を行い海藻の根が石に定着するまで育てます。海の森づくりを行うおまつ浜へ参加者全員で地元漁船の船に乗り海岸の見学を行いその場で伊勢海老の放流を行いました。今回のイベントは、三重テレビで紹介されました。

天然石へのセメントの取付



天然石へのペイントデザイン



植林活動についての説明



漁港での中間育成



記念撮影



Y
A
M
A
T
O
F
C



事業内容

5月1日・5月2日海の森づくりイベント(海のピオトープ作り)

活動月日

5月2日

参加人数

40人

活動対象地域

紀北町海山区島勝浦

参加団体

ISE YAMATO FC

事業内容

5月1日は宿泊先のけいちゅうにて海の森づくりについて勉強会を行い、漁村での活動によるローカル・ルールについてみんなで考えました。

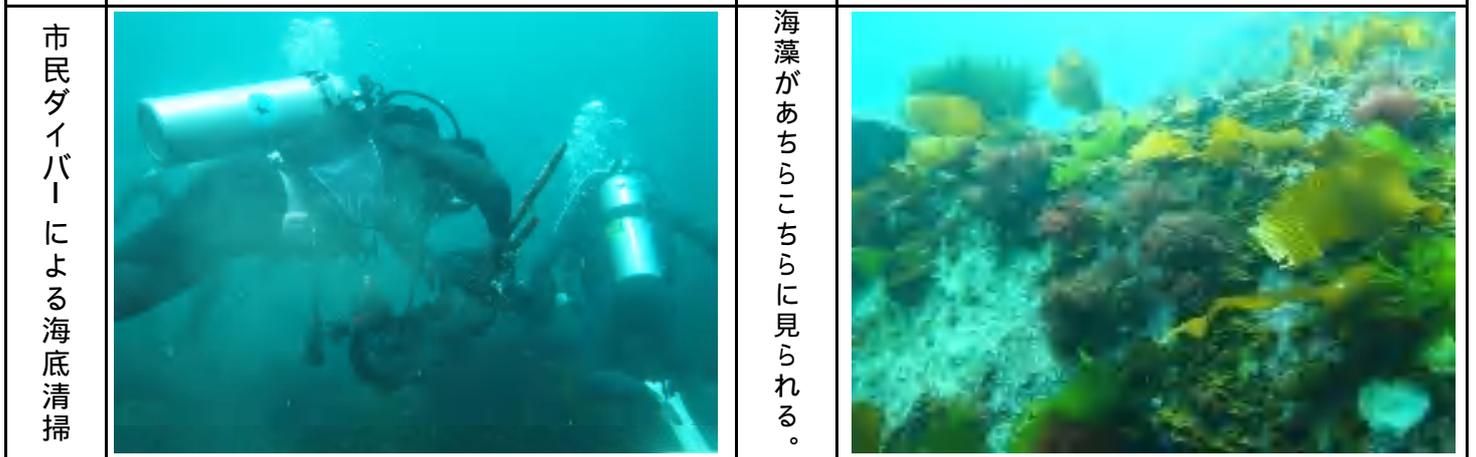
5月2日は、ISE YAMATO FCメンバー全員で植林活動に使用する天然石の運搬やセメント・針金の取付を行い海の森づくりの準備作業も一緒に体験してもらいました。準備作業の後海岸に移動して海藻の苗を取り付ける天然石に各人の思いを込めてペイントデザインを行い中間育成を行う漁港に地元活動グループの海守りの協力を得て海中に設置を行いました。



事業内容	海の森づくり(中間育成海藻苗の移動)		
活動月日	5月16日	参加人数	11人
活動対象地域	紀北町海山区島勝浦	参加者・団体	海守り・漁業者他

事業内容

海の森づくり体験時に植樹したアラメ苗も根が成長したので、海のビオトープ作りを行うおまつ浜に移植を行った。移植には海守りメンバーと島勝の漁業者の力を借りてメッセージ確認しながら海に投入し投入した天然石はダイバーによって海底に設置を行った。



事業内容	海中清掃イベント		
活動月日	7月10日	参加人数	14人
活動対象地域	紀北町海山区島勝浦	参加者・団体	市民ダイバー・漁業者他

事業内容

紀北町海山区島勝は磯釣りが盛んで、海底は海藻が沢山見られるがその中には釣り針や釣りおもりがあちこちに見られ今回は、市民ダイバーと漁業者にて海中清掃を行いました。
 清掃場所は、宮沢渡船の船長に磯釣りポイントに連れて行ってもらい2班に分かれて清掃活動を行いました。
 海底には、海藻や伊勢エビ他にはアワビ・サザエが見られましたが、それらに混ざっている釣り糸やロープをダイバーみんなで拾いました。陸に上がってからはみんなでバーベキューを楽しみました。



事業内容	シュノーケリング(観察会)		
活動月日	7月19日	参加人数	11人
活動対象地域	紀北町海山区島勝浦	参加者・団体	市民(親子)

事業内容

紀北町のおまつ浜(海のピオトープ作り現場)にて、紀北町の観光に来ていた親子数組によるシュノーケリング体験を行いました。インストラクターは、紀北町観光協会の方にお願しい植林活動を行った場所を水中眼鏡でのぞきながら海藻(藻場)の役割を説明したり魚を観察しました。休憩時間は海っ子の森メンバーによって植林したアラメをみんなに見せ海藻に触れてもらいました。紀北町役場の浜田さんも説明に参加していただき図鑑を片手に観察した魚や貝を子供と一緒に探していました。



事業内容	シュノーケリング(観察会)		
活動月日	8月7日	参加人数	16人
活動対象地域	紀北町海山区島勝浦	参加者・団体	小学生

事業内容

紀北町島勝浦の海の森づくり現場でのシュノーケリングによる観察会に前回より多くの小学生が参加してもらいました。今回も、シュノーケリングにより海の中を観察しインストラクターより海藻を食べてしまうガンガゼウニや植林して大きく育ったアラメや天然に繁茂しているアラメの説明を受けました。海岸では、生物多様性の話や海っ子の森の活動について岩尾さんにより説明をしてもらいました。最後は、みんなで記念撮影(また海に遊びに来てください)



事業内容	調査作業		
活動月日	9月19日	参加人数	9人
活動対象地域	紀北町海山区島勝浦	参加者・団体	海守り・漁業者

事業内容

海守りと漁業者に参加してもらい植林したアラメ達の調査を行いました。
 海に潜ったら海水が温水プールのようになっていて、つい2週間前とは違った景色が広がりアラメが真っ黒に変色し茎だけになって枯れていました。みんなが以前に取り付けたアラメをシュノーケリング時に持ち上げて子供たちに見せていたものもダメになっていました。
 周辺の調査もして見た結果、1年目の海藻は天然のものも同じ状態で黒くなって枯れていましたが少し深いところに設置したアラメは少し残っていて安心しました。でもみんなが一生懸命育てたほとんどのアラメが枯れてしまったことが残念でみんな黙ってしまい言葉が出ませんでした。



活動報告会が始まりました

けいちゅうの野外施設を利用



今年の森づくりの話で盛り上がりました。

来年はどうしよう？



地元の方から伊勢海老の差し入れ

バーベキューもにぎやかに



事業内容	活動報告会		
活動月日	11月6日	参加人数	20人
活動対象地域	紀北町海山区島勝浦	参加者・団体	海守り・漁業者

事業内容

活動報告会をけいちゅう野外施設で海守り・漁業者そして町役場の方も参加し、日本財団の助成事業である海の森づくりの成果や問題点を話し合いました。今年は初めての取り組みでもあり準備や環境教育については、まだまだだなどの意見が多く出ました。また今回植林したアラムは猛暑により大半は枯れてしまいましたが、少し深い海底に設置したアラムは健全であることから次回は潮の流れのある深い場所に設置しては等の意見が出ました。活動に於いての手ごたえは十分あり来年の予定についても参加者全員が活発に話し合いました。網の上では地元の方により提供して頂いた伊勢えびが焼けて豪華でした。

明日の森づくり勉強



海っ子による説明



モルタルを作るのも初めて



木片にアラメの幼苗を取付



苗を付ける石作り



最後に苗を海へ中間育成



事業内容

海の森づくりイベント

活動月日

1月9日

参加人数

40人

活動対象地域

紀北町海山区島勝浦けいちゅう

参加者・団体

どんぐり会

事業内容

どんぐり会(中学生)により海の森づくりの準備作業を体験してもらいました。前日から島勝浦にある宿泊施設けいちゅうに宿泊し自分たちの食事を町役場の浜田さんの指導により準備と片付けを行いました。食事の後は明日やる海の森づくり(海洋環境再生)の勉強会を行いました。

朝起きて海の森づくり体験が始まり初めに海っ子の森の岩尾先生により磯の生物多様性について勉強をしました。その後、外にでて海っ子・海守りの指導によりアラメの苗を取り付ける石の架台を、コンクリートを練って石に貼り付け木を固定するための針金を埋め込みました。

クレモナ系に成長したアラメ幼苗(2mm)を木片にホッチキスにより取付ました。取り付けた苗は船に乗って沖出しを行い中間育成により20cmに成長するのを待ちます。4月に本日作ってもらった石に苗を付けて海の森づくりを行います。

今日海に帰る伊勢海老です



紀北町浜田さんにより放流の
注意点を説明



生きた伊勢えびにびっくり



伊勢えびを持って海へ



伊勢えびは後ろ向きに泳ぎます
反対ですよ



大きくなって違いましたよ



事業内容

伊勢えび放流

活動月日

1月15日

参加人数

15人

活動対象地域

紀北町海山区島勝浦けいちゅう

参加者・団体

山好会

事業内容

海っ子の森の上園さんが参加する山登り活動団体(山好会)が島勝に来てくれました。今回は1泊2日でけいちゅうに宿泊してもらい伊勢海老・渡利ガキの料理を食べてもらいました。料理を行うのは紀北町観光協会と紀北町浜田さんです。豪華な料理を食べる前に海っ子の森の活動について勉強してもらい講師は山下が担当しました。翌日は、伊勢えび(稚エビ)の放流体験です。紀北町役場浜田さんにより伊勢エビ漁について説明を聞き漁業者から提供してもらった伊勢海老を全員で放流しました。参加者のほとんどが生きた伊勢エビを触ったことがなく小さくても元気な海老にびっくりしつつ、海に大きくなった姿をイメージしながら1匹づつ放流しました。